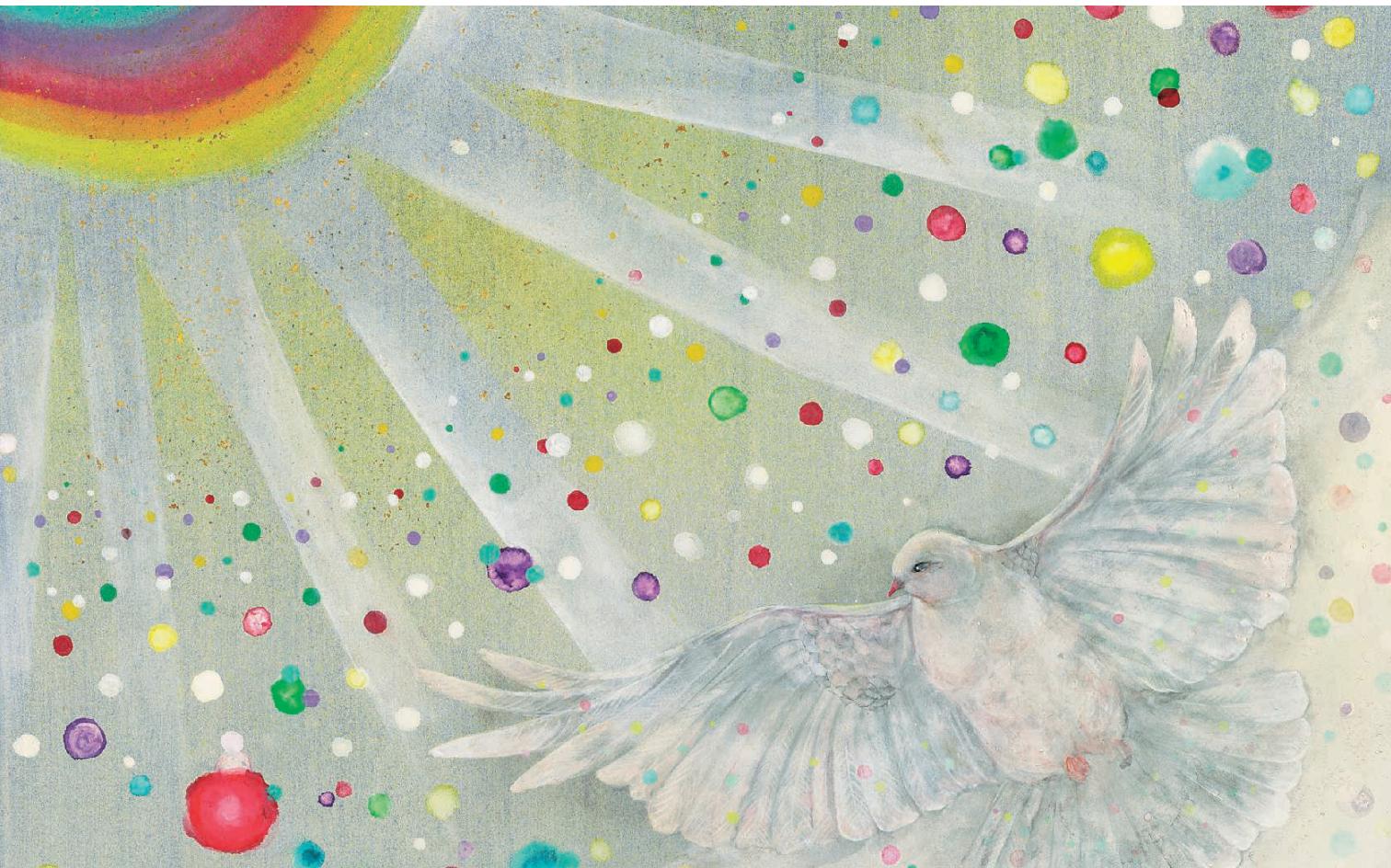


okamoto



第127期

株主通信

2022.4.1 ▶ 2023.3.31

New Basic

身近な暮らしを科学する

オカモト株式会社

■ トップメッセージ

株主の皆様には、平素より格別のご高配を賜り厚く御礼を申し上げます。
ここに、当社第127期（2022年4月1日から2023年3月31日まで）の株主通信をお届けするにあたり、一言ご挨拶申し上げます。

代表取締役社長

岡本 邦彦



あらゆるステークホルダーに選ばれる企業を目指し、 中・長期的な視点で「身近な暮らしを科学する」を実践してまいります。

第127期(2023年3月期)は、新型コロナウイルス感染症が収束しつつある中、飲食業界及び旅行業界を中心に回復基調を感じられるものの、世界規模での原材料価格・エネルギー価格の著しい高騰、原材料の供給不安、円安の急激な進行など不安定な経済環境でありました。

こうした環境下において、当社グループは、原材料の安定的な調達と生産体制の維持に努め、需要の急激な回復に対応するとともに、「アフター・コロナ」を見据えた新製品開発と設備投資を進め、競争力の強化に努めてまいりました。

また、金融庁等での株式会社市場活性化に向けた議論を踏まえ、ガバナンス体制強化のため「執行役員制度」を導入するとともに、任意の「指名・報酬委員会」等を活用した経営の更なる透明性の向上と対外的な情報開示の充実を進めてまいりました。

他方で、近年の度重なる自然災害を受けて地球温暖化の議論が加速度的に進化し、温室効果ガス排出量やプラスチック使用量の削減を求むる声は日増しに高まってきており、本社内新たに設置した「サステナビリティ委員会」での議論と子会社「オカモト環境開発(株)」での活動を通じて、原材料や廃棄物のリサイクル活動を推進してまいりました。

これらの施策を実施した結果、当連結会計年度における売上高は99,076百万円(前年同期比10.6%増)となりました。利益面では、原材料及び電力価格の高騰の影響で営業利益は6,898百万円(前年同期比8.5%減)、経常利益は7,922百万円(前年同期比14.9%減)、親会社株主に帰属する当期純利益は4,893百万円(前年同期比12.3%減)となりました。

また、株主の皆様への還元については、ボラティリティが高まっている市況への対応力強化と設備投資での資金需要とのバランスの中でできる限り拡充すべく、中間配当金・期末配当金ともに1株あたり55円とし、年間配当金は第126期比で5円増配とさせていただきます(配当性向40.6%)。

第128期は、いよいよ本格的に経済活動が回復基調となることが見込まれており、当社グループは、既存マーケットでの更なるシェア拡大を見据えて生産能力の増強と販売力の強化に努めるとともに、「アフター・コロナ」の新様式での経済環境においては新たな市場やニーズが生まれてくることが期待されており、新製品の開発と供給体制の強化に取り組み、「売上高1,000億円」を計画しております。

また、メーカーとして「品質」「安全」に万全を期すため、常に原点に立ち返り管理体制の強化を図るとともに、社員のモチベーション向上とそのための職場環境の改善に取り組んでまいります。

更に、プライム市場上場企業として、「資本コスト」や「株価」をより意識した経営に努めるとともに、対外的な情報発信を推進してまいります。

こうした取り組みにより、株主の皆様のほか、お取引先様、従業員、地域住民の皆様など全てのステークホルダーの方々の笑顔あふれる社会の実現に向けて社会的責任を果たしてまいります。

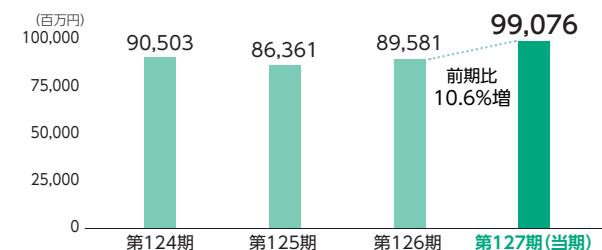
株主の皆様におかれましては、今後とも当社グループへのご支援、ご鞭撻を賜りたくお願い申し上げます。

■ 連結財務ハイライト

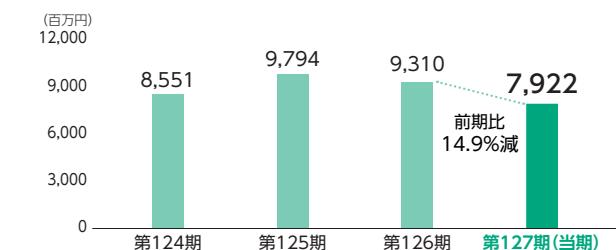
主要連結財務データ

	第124期 2020年3月期	第125期 2021年3月期	第126期 2022年3月期	第127期(当期) 2023年3月期
売上高	90,503 百万円	86,361 百万円	89,581 百万円	99,076 百万円
営業利益	7,345 百万円	8,269 百万円	7,541 百万円	6,898 百万円
経常利益	8,551 百万円	9,794 百万円	9,310 百万円	7,922 百万円
親会社株主に帰属する当期純利益	3,489 百万円	5,697 百万円	5,577 百万円	4,893 百万円
1株当たり当期純利益	184.52 円	304.04 円	301.32 円	271.06 円
総資産	104,081 百万円	112,070 百万円	117,560 百万円	127,176 百万円
純資産	63,838 百万円	70,316 百万円	74,916 百万円	79,099 百万円
1株当たり純資産	3,258.01 円	3,609.27 円	3,932.69 円	4,316.20 円
配当	100.00 円	100.00 円	105.00 円	110.00 円

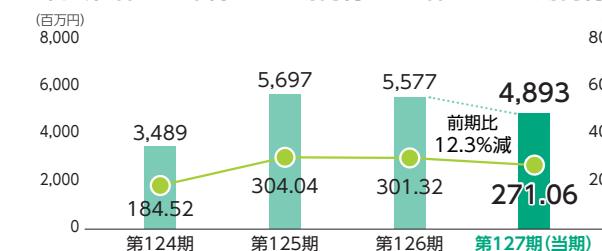
● 売上高



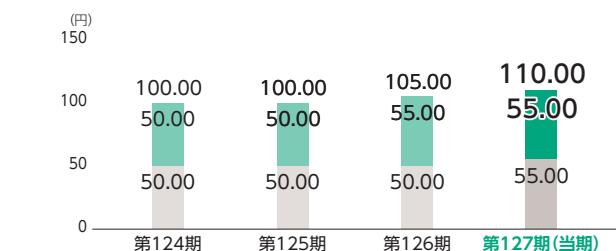
● 経常利益



● 親会社株主に帰属する当期純利益 / 1株当たり当期純利益



● 配当



NEWS & TOPICS

オカモトグループの様々な活動や取り組みをご紹介します。

除湿剤「水とりぞうさん®」発売40周年を記念し、特別パッケージで販売

除湿剤「水とりぞうさん®」は1982年にタンクタイプを全国で発売し、湿気対策にとご愛顧いただき2022年で発売40周年を迎えました。住環境の変化にともない、シートタイプやコンパクトなテトラ型などのラインアップを拡充、お客様の声にお応えして脱臭・防虫機能を付加した商品を展開しております。これからも長く愛されるブランド・商品づくりを続けてまいります。



「オカモトのFemcare&Femtech」特設サイトを開設!

「身近な暮らしを科学する」を合言葉に、全てのお客様の日々をサポートしたいという想いを伝えるべく、特設サイトを開設しました。サイト内では「当たり前を頑張っている全ての方が、より健やかな毎を送れるように、あなたの生活をサポートしたい。」というメッセージとともに、お客様に寄り添うものづくりへの想いなどをご紹介します。



コンドーム「エデン」フランスにて無料配布対象に

2023年1月、フランス国内では25歳以下の若者を対象としてコンドームを無料配布*する政策が導入され、対象コンドームの1つに当社製品が認定されました。（*医師の処方箋が必要）性感染症の急激な感染拡大が懸念されているフランス国内で同国政府による画期的な方針決定を受け、積極的に取り組み、若年層の性感染症拡大予防に貢献してまいります。



岡山県井原市に事業用地を取得しました。

西日本における新たな生産・物流拠点を構築するため、2022年6月に岡山県井原市に事業用地を取得いたしました。

当社では、市場競争力の向上に努め、更なる事業ポートフォリオの拡充とバランスの取れた設備投資計画の推進により、生産・物流拠点の最適化を進めております。

新工場・新物流倉庫用地の概要

- 所在地 岡山県井原市
下稲木町3027番1
- 敷地面積 47,357平方メートル
(約14,000坪)
- 事業内容 生活用品及び産業用製品の製造、及び製品の保管・出荷

中国の車輦内装材工場が本格稼働開始

第126期に竣工した中国武漢の新工場が予定通り本格稼働を開始いたしました。グローバルな市場での安定生産・供給を実現します。

ウクライナへの支援をいたしました。

2022年5月にウクライナ国内及び周辺国に逃れた方々への人道的支援のため、国連難民高等弁務官事務所（UNHCR）を通じ500万円の寄付を実施いたしました。この度のウクライナ情勢において犠牲となられた方々に心からの哀悼の意を表するとともに、一刻も早くこの事態が終息し、平和で安全な日々が取り戻されることを願います。



Environment

気候変動に対する活動

国内工場の水害対策の推進

第126期の福島工場での水害対策に続き、大井川の近くに位置している静岡工場での対策工事が完了いたしました。福島と同じく変電所の嵩上げと防水壁の設置に加え、排水設備の整備等を行いました。



工場全体を囲む防水壁の設置



浸水すると自動で閉じるゲートの設置

Governance

コーポレートガバナンスの強化に向けた取り組み

執行役員制度の導入

著しく変化してきている昨今の経営環境に対して、より機動的な意思決定を図るため、執行役員制度を導入いたしました。

- 取締役会での資本政策及び中長期的な戦略に関する議論等を通じた実効性の向上
- 執行役員会での収益力向上に向けた施策及びリスク管理に関する情報共有及び検討

サステナビリティ委員会の設置

持続可能な企業としての事業に関するリスク管理のさらなる向上とこれらに関する情報開示の強化を図るためにサステナビリティ委員会を設置いたしました。

- CO₂排出量の削減や省資源化、廃棄物の削減
- 当社及び当社グループ全体のコンプライアンス体制の強化やリスク管理

人材活用

ダイバーシティ&インクルージョンを目指す活動

当社では、本人やその家族が出産や育児を迎えた従業員が就労機会を失うことがないように、産前産後休暇や育児休業制度に加え、短時間勤務や短時間有給休暇制度を導入し、働きやすい職場環境づくりに取り組んでいます。

- 育児休業実績
(期間：2022年4月～2023年3月)
17名 (男性2名、女性15名)
- 育児短時間勤務利用者
(期間：2022年4月～2023年3月)
23名 (女性23名)
- 年有給休暇取得率
(期間：2021年7月～2022年6月)
64.2%



社会貢献活動

中学校での啓発活動の取り組み

京都府下の中学校にて授業内で性教育を行いたいという申し出をいただき、2、3年生の授業へご協力をさせていただきました。 Condom が身体を守る大切な道具の一つであることを伝え、正しい知識と使い方について分かりやすく説明いたしました。



コラボ商品を通じたアフリカの性教育へ継続的な支援

当社では、2021年秋より認定特定非営利活動法人CLOUDYとコラボしたコンドーム「CLOUDY 500」を販売しています。同コンドームの売上金の一部を支援金として寄付し、学校教育における性教育の充実と布ナプキンの普及活動の支援に活用されています。同法人を通じて、2022年4月以降、毎月150名程度の中学・高校生に対して性教育授業が行われ、布ナプキンと下着、石鹸をセットにしたサニタリーセットを1,732名分配布することができました。



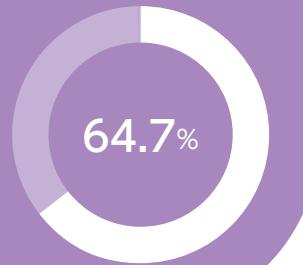
Paralympic Art®
障がい者アートを応援しています

パラリンアートへの賛同

パラリンアートとは、障がい者が生み出すアートを活かして、社会参加と経済的自立を推進する活動です。当社では、一般社団法人障がい者自立推進機構が運営するパラリンアートのオフィシャルパートナーとして、障がい者アーティストの自立を応援しております。今回も第126期に続き株主通信の表紙にパラリンアートを採用いたしました。

産業用製品事業

ゴムの成膜技術を応用し、主に原油由来のプラスチック原料からフィルムシートを製造し、他の事業者に配給する事業。原油やナフサの市場動向と、世界的なプラスチック原料の需給バランスに影響を受けやすい環境にあり、当期は、需要が戻りつつありましたが、原材料及び電力価格の高騰の影響により増収減益となりました。



64.7%

フィルム事業

一般用・工業用として製造販売するフィルム・PPシートは、手帳やクリアフォルダ等の身近な製品から、看板広告、工場の間仕切り等、様々な用途に使用されております。

コロナ禍では、透明フィルムに抗菌や抗ウイルス処方を施し、飛沫防止用としても多く使用されました。

また、当社内でデザインを開発・印刷する建材用フィルムは、玄関ドアやユニットバス等の住宅建材の他、看板広告や自動車インテリア等にも使用されております。



粘着テープ・工業用テープ事業

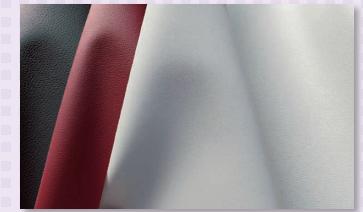
梱包用途や養生用途として、布・クラフト紙・ポリエチレンなどの様々な基材を使用した粘着テープを販売しております。

また、ブチルゴムを使用した住宅建材用テープ、ポリイミドやポリエステル等のフィルムを使用した精密機器・精密加工等に使用される工業用テープを販売しております。



車輦内装材事業

自動車のダッシュボード、座席、ドア等に使用される内装用表皮材に加え、二輪車の座席用表皮材、椅子張り用表皮材等を販売しております。国内工場(静岡)及び米国(オハイオ州)に加え、中国(武漢)に新工場を設立し、表皮のデザインをはじめとした仕様開発から試作・量産までを一貫して行っております。



農業用フィルム事業

全国の自然環境や作物の特性に合わせて、保湿性や耐久性の向上のほか、紫外線抑制、散乱光等の機能性、温度抑制効果機能のある農ビ(ポリ塩化ビニル製)や農PO(ポリオレフィン製)のフィルムを販売しております。



フレキシブルコンテナ事業

ポリ塩化ビニルやポリエチレンといった合成樹脂のほか、化学品や飼料・肥料等を運搬するためのコンテナバッグを販売しております。



多層フィルム事業

オレフィン系多層フィルムは異なる素材を多層構造に押出成形することにより、レトルト食品包装、豆腐等の容器トップ材、医療用輸液バッグのほか、電池部材等の工業用途にも使用されております。



食品衛生関連事業・食品用脱水・吸水シート事業

食品スーパーや飲食店向け業務用としてのラップフィルム、ポリエチレン製やニトリルゴム製の手袋のほか、家庭用ラップ「やさしいラップ」と、特殊多層構造の「カシニーナ ピタッ!とラップ®」を販売しております。

また、浸透圧の力で肉や魚を脱水する「ピチット®」、高吸収ポリマーで吸水する「レッドキーパー®」を販売しております。



壁紙事業

様々な色を重ね合わせた壁紙や、起伏をつけて立体的な表現を施した壁紙のほか、汚れや臭い対策を施した壁紙など、幅広いラインアップの製品を販売しております。

新たに開設したつくば工場(茨城県牛久市)をメイン工場とし、増産と新製品開発に取り組んでおります。



生活用品事業

コンドームや長靴、医療用・家庭用品手袋などのゴム製品のほか、カイロ、除湿剤、雨衣、紳士靴、スニーカー、滅菌器、浣腸等を製造販売する事業。

コンドームは、インバウンド需要が戻りつつあり、海外向けは引き続き堅調に推移しており、また除湿剤やカイロも市況が回復したため、増収増益となりました。

35.1%

除湿剤事業

「水とりぞうさん[®]」の愛称でご好評いただいている除湿剤は、タンクタイプ(550mL、550mL 炭)、シートタイプ(クローゼット用、引き出し用、下駄箱用等)のラインアップで販売しております。

また、押し入れなどに布団を収納する際の湿気や、家具裏のちょっとしたすき間のカビ対策品等も幅広く展開しております。



コンドーム事業

当社のコンドームは国内工場(茨城)・タイ・中国の3工場で生産しています。「オカモトゼロワン(0.01mm台)」、「オカモトゼロツー(0.02mm台)」、「ゼロゼロスリー(0.03mm台)」を中心に様々な商品を国内外で販売しております。

新商品として投入した2種類の異なる潤滑剤を塗布した「GROOVE」や、女性も手に取りやすい「ピュアマーガレット ケアリングゼリー」が注目いただいております。



手袋事業

家庭用手袋として「ビルパール[®]」「マリーゴールド」「サーモ発泡」などに加え、北欧調デザインと機能性を兼ね備えた「カシニーナ」シリーズや、使いきりタイプ等を販売しております。

また、精密機器メーカーでも使用実績のあるクリーンルーム用手袋や、農作業や機械整備作業の従事者にご好評な作業用手袋等も販売しております。



メディカル事業

医療機関向けの手袋は、手術用や検査検診用等の用途に合わせた幅広いラインアップで販売しております。また、主に病院・クリニック等で使用される高温蒸気滅菌器は、様々なサイズを展開しております。

経産用超音波プローブカバーにおいてはコンドームの技術を転用し、ラテックス製や非ラテックス製の商品を産科・婦人科へ販売しております。また、浸透圧吸水性の創傷被覆材「オスモパッド」等の新商品開発にも継続して取り組んでおります。



ブーツ・雨衣事業

建設業、水産業、加工業、飲食業、農業、林業など、様々な業種向けの作業用ブーツを販売しております。

また、ガーデニングや釣りなどの趣味・レジャー用ブーツもご好評いただいております。

このほか、先芯入り超軽量セーフティシューズや、ピンスパイクシューズなどの販売も行っております。

(雨衣の販売は第127期をもって終了いたしました。)



その他事業

かつて自動車用タイヤを生産していた群馬工場跡地(群馬県太田市。約60,870m²)を有効活用し、自社にて太陽光パネルを設置し、「オカモト太田ソーラーパーク」として太陽光発電事業(発電能力は約4,230kW)を行っております。



会社概要 (2023年3月31日現在)

社名 オカモト株式会社
 設立 1934(昭和9)年1月10日
 資本金 13,047,630,757円
 従業員数 1,126名
 本社 〒113-8710
 東京都文京区本郷3丁目27番12号
 電話(03)3817-4111(代表)
 大阪支店 〒540-0022
 大阪府大阪市中央区糸屋町2丁目4番6号
 電話(06)4793-8500(代表)
 名古屋営業所 〒461-0025
 愛知県名古屋市東区徳川1丁目901番地
 電話(052)933-1171(代表)
 福岡営業所 〒815-0035
 福岡県福岡市南区向野1丁目13番9号
 電話(092)557-2600(代表)

取締役 (2023年6月29日現在)

取締役会長	岡本 良幸	取締役	有坂 衛
代表取締役社長	岡本 邦彦	(監査等委員)	
代表取締役専務	岡本 優	社外取締役	深澤 佳己
専務取締役	高島 寛	(監査等委員)	
常務取締役	田中 祐司	社外取締役	荒井 瑞夫
社外取締役	相澤 光江	(監査等委員)	

執行役員 (2023年6月29日現在)

社長執行役員	岡本 邦彦	執行役員	久米 孝之
専務執行役員	岡本 優	執行役員	佐藤 篤史
専務執行役員	高島 寛	執行役員	山崎 実
常務執行役員	池田 佳司	執行役員	谷口 雄二
常務執行役員	土屋 洋一	執行役員	佐藤 達也
常務執行役員	田中 健嗣	執行役員	伊藤 延之
常務執行役員	野寺 哲生	執行役員	内山 祐之
常務執行役員	田中 祐司		

オカモトの技術を支える国内生産拠点・海外拠点

当社グループは、国内の拠点それぞれがゴムとプラスチックの加工技術を深化させるとともに、総合メーカーとしてそれぞれの技術を融合させ、発展してまいりました。またグローバルに展開するお客様のニーズにお応えするため、中国やタイ、米国等に拠点を拡張してまいりました。
 これからも国内での研究開発の推進、国内で策定する品質管理基準の統一的な運用を基礎としながら、世界レベルでの生産と供給の最適化を図り、より多く社会に貢献できる企業を目指してまいります。

国内生産拠点

- 静岡工場
 所在地: 静岡県榛原郡吉田町神戸1番地
 生産品目: フィルム、多層フィルム、農業用フィルム、壁紙、車輻内装材など
- 茨城工場
 所在地: 茨城県龍ヶ崎市板橋町字西山1番地
 生産品目: コンドーム、粘着テープ、ホウ酸ダング、手袋、カイロ、食品用脱水・吸水シート、ビデオ
- 福島工場
 所在地: 福島県いわき市平赤井字日渡71番地
 生産品目: ラップフィルム、ポリプロピレンシート、除湿剤、フレキシブルコンテナ、ゴムバンド、インジェクションブーツ
- つくば工場
 所在地: 茨城県牛久市桂町2200-2
 生産品目: 壁紙



静岡工場



福島工場



茨城工場



つくば工場

■ イチジク製薬株式会社

1925年、田村廿三郎医師がイチジク印軽便浣腸を開発し、以来98年にわたり「イチジク」のブランドで浣腸を製造・販売してきた家庭薬メーカーです。便秘は、性別や年齢に関わらない身近な問題で、深刻な症状に発展するおそれもあります。浣腸は「飲まない便秘の薬」として長年愛されてまいりました。0歳児から高齢者までご使用いただける製品を取り揃えるとともに、お子様の便秘で悩んでいる保護者様向けの啓発活動も行っております。

▶イチジク浣腸30「青色」と「白十字」のデザインをシンボルとして40年以上にもわたり販売しているロングセラー商品です。



創業95周年記念
アニメーション動画を自社HPで公開中▶

■ オカモト化成株式会社

オカモトが生産するフィルム製品や、粘着テープ、食品用ラップ、手袋、長靴等のコンシューマー向けの商品を取扱しております。また、当社独自の視点で開発する加工製品も、幅広く市場へ展開しております。農業分野においても、自社工場を中心に農業ハウス用に加工商品を製造し、農業従事者の皆様のニーズにお応えする製品の提供を行っております。



▲独自の加工所で裁断加工し、ハウスの屋根材等として販売しております

■ オカモト環境開発株式会社

地球環境の保護への取り組みを強化し、廃プラスチックの再利用を推進して廃棄物としての排出量を削減するため、2020年10月1日に新会社を設立いたしました。新会社の設立を通じて、生産工程で排出される端材等を再利用した新製品の開発を強化して、廃棄物の更なる削減と、原材料のより有効かつ効率的な活用を進めます。



■ ヒルソン・デック株式会社

1980年の創業以来、独自に第二種医療機器製造販売業としての許可を取得し、医療機関が治療や検査に使用する器具を滅菌する際の「滅菌器」を製造してまいりました。

医療機関の物理的な環境や滅菌する器具の種類等に応じて、様々な大きさや設置方法の滅菌器をラインアップとして取り揃えております。



■ 世界長ユニオン株式会社

1919年創業の「大阪ゴム底足袋株式会社」と1952年創業の「ユニオン製靴株式会社」を起源とし、オカモトのシューズ事業も統合して2010年に誕生したメーカーです。直営の製靴工場（千葉）でクラフト生産する紳士靴「UNION IMPERIAL」、50年ぶりに復活したスニーカー「Panther」等を製造販売し、これらは都内直営店でも販売しております（「日比谷OKUROJI」内）。なお、2023年4月1日付でオカモトと合併しております。



▲日本人に優しいフィッティングのUNION IMPERIAL



▲日比谷OKUROJI直営店舗



▲PantherアイコンモデルのPANTHER DERA



▲2014年9月に発売された「指ドーム」

▼工業用指サック



■ 船堀ゴム株式会社

1959年、江戸川区船堀の地で創業した「工業用指サック」メーカーです。原材料にはコンドームと同じ天然ゴムラテックスを使用し、「薄くて丈夫、柔らかくて使いやすい」というゴムの特性を生かして製品ラインアップを広げ、精密機器に使用される電子部品などの製造現場でも愛用されております。

また硫黄や亜鉛等を含まない製品や、帯電防止機能を付加した製品などの販売に加えて、業務用コンドーム事業も展開しております。

■ 理研コランダム株式会社

1935年に、財団法人理化学研究所で研究開発された人工研磨材「砥粒」を用いて、研磨布紙の製造・販売を目的に設立されました。

切削・研磨に欠かせない「砥粒」という粒状ないし粉末状の原料を、ニーズに応じて、布・紙・フィルム・金属等に付着させることにより、研磨用ベルト、フラップディスク（多羽根ディスク）、OA機器用ロール等の製品として製造販売しております。



株式の状況

株式の状況 (2023年3月31日現在)

発行可能株式総数 80,000,000株

発行済株式総数 17,610,804株(自己株式を除く)

※上記より控除した自己株式数988,563株

株主数 6,168名

大株主

株主名	持株数(千株)	持株比率(%)
明治安田生命保険相互会社	1,485	8.43
日本マスタートラスト信託銀行株式会社	1,469	8.35
丸紅株式会社	1,442	8.19
株式会社みずほ銀行	878	4.99
有限会社八幡興産	706	4.01
やよい会	652	3.71
INVERISIS / IICS JAPAN	519	2.95
損害保険ジャパン株式会社	488	2.78
株式会社日本カストディ銀行	478	2.72
オカモトグループ社員持株会	344	1.96

- (注) 1. 信託銀行の所有株式数のうち、信託業務に係る株式数
日本マスタートラスト信託銀行株式会社 1,469千株
株式会社日本カストディ銀行 478千株
2. 持株比率は自己株式を除いた発行済株式総数に対する割合です。

株主メモ

事業年度 毎年4月1日～翌年3月31日

剰余金の配当基準日 3月31日
(中間配当を行う場合は9月30日)

定時株主総会 毎年6月下旬

単元株式数 100株

株主名簿管理人 東京都千代田区丸の内一丁目3番3号
(特別口座の口座管理機関) みずほ信託銀行株式会社

郵送物送付先 〒168-8507

東京都杉並区和泉2-8-4

みずほ信託銀行株式会社 証券代行部

お問い合わせ先 みずほ信託銀行 証券代行部

ホームページ: <https://www.mizuho-tb.co.jp/daikou/index.html>

フリーダイヤル: 0120-288-324

(土・日・祝日を除く 9:00~17:00)

※株式に関する事務手続きはお取引の証券会社にお問い合わせください。

公告方法

電子公告

(<https://www.okamoto-inc.jp/>)

但し、やむを得ない事由によって、電子公告による公告をすることができない場合には、日本経済新聞に掲載して行います。

表紙



明日への希望

東日本大震災後に、心の平穏を願って作成したものだ。

●アーティスト 彩さんプロフィール

1才の時の高熱で聴覚を失う。浦上義昭画伯と出会い、日本画を学ぶ。自身の身近な風景を力強く表現している。

オカモト株式会社

〒113-8710 東京都文京区本郷3丁目27番12号
(03) 3817-4111 (代表)

<https://www.okamoto-inc.jp/>

UD FONT

